

NPOkayama

特定非営利活動法人岡山NPOセンター 機関誌

特集

「みんなでつくる財団」設立プロジェクト



目次

- 市民財団の可能性
- [特集] 「みんなでつくる財団」設立プロジェクト
- NPO 関連ニュースヘッドライン
- 岡山 NPO センター事業
活動実施報告 & インフォメーション
- NPO 法人 AMDA 社会開発機構
国内連携事業部チーム長・山上正道さんに聞く
- ニューストピックス
- [リレーコラム] 助成財団の目線 vol.12
- 石原文庫の「ななめ読み」 vol.2

市民財団をみんなでつくること

今、市民ひとり一人がお金を出し合う「割り勘」で、社会課題の解決や変革に向かう「夢」をかなえるために「市民財団」を創る新たな取り組みが、この岡山で胎動しています。

従来の地縁、血縁、社縁など従来の関係に限定されずに、自立した個人の思いの共有と協同により新たな社会変革に向けて動き出しています。このような活動を支援する基盤として、情報分野では、SNS などの新しいコミュニケーションツールが大きな役割を果たしていますが、同様に、志のある方のホットな思いが伝わる距離で市民活動を支える「お金の流れ」をつくることも必要です。

「岡山では寄付文化は根付かない」と言われる方もおられますが、東日本大震災の支援をはじめ、多くの市民活動に支援が寄せられています。また、100 年前から社会福祉に先進的に取り組んだり、県民寄付で新制岡山大学創設を実現するなど、社会基盤を市民の力で実現してきた歴史が岡山にあります。従って、岡山スタイルの新たな市民財団のスタイルが必ずや育っていくことでしょう。

寄付税制などの改正により、新しい公共の担い手である NPO への寄付が得やすくなりました。この機を逃さず、寄付という手段を活用し、誰もが社会を変えられる仕組みを創るための一助として、市民財団の取り組みを着実に進めることが必要だと思います。

(岡山 NPO センター理事 友延栄一)

